

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立八幡浜高等学校 全日制

学校番号 34

評価実施日		令和6年2月22日(木)	
委員	氏名	所属等	備考
	幸田 裕司	(一社)愛媛県ネットワーク協会 メンタル・トレーナー	
	柳澤 義文	八幡浜市立保内中学校校長	
	中井 貴一	(株)中井建設	
	川里 幸治	PTA会長	
	福岡 勝也	PTA顧問	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>1 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の立場に立った学習指導ができており、保護者等からの評価が低い原因を検討して、改善策を考えてほしい。</li> <li>実践的指導力の向上に向けて努力されている。</li> <li>保護者からの評価がやや低いとの意見があるが、更なる期待を込めての評価であると考えられ、引き続き研究と実践を行ってほしい。</li> <li>保護者がどのレベルまで求めているのか。難しいところだと感じた。</li> </ul> <p>2 生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の発生はやむを得ないところもあるが、引き続き未然防止に向けて努力してほしい。年に一度、交通安全教室を実施してみようか。</li> <li>ボランティアを通して郷土愛が育まれていくと思う。ボランティア精神の向上に向け、意識啓発を強化してほしい。</li> </ul> <p>3 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学力に応じた進路指導を目指してほしい。</li> <li>生徒一人一人に寄り添った進路指導が行われていると感じた。</li> <li>探究学習に力を入れていく中、学力向上にも努めてほしい。</li> <li>学力向上に向けてのモチベーションアップに工夫してほしい。</li> <li>キャリア教育の充実について、生徒の約9割が満足との回答結果は十分な成果である。</li> <li>早い段階で目的を見出せるようなキャリアノートの活用は今後も進めてほしい。</li> </ul> <p>4 健康・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校設備の改善については、予算の制約もあり大変だと思うが、優先順位をつけて重点的に行ってほしい。</li> <li>合併や予算の関係で進みにくい状況だと思います。しっかり要望として県へ伝えてほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3校の合併、社会の在り方の激しい変化にも対応した学習指導が求められている。生徒の実態に合わせて、評価方法を含めて更なる研究実践を進める。</li> <li>STEAM教育の研究実践を2年間行った結果、他教科の研究授業への参観や、情報の共有など協働体制が徐々に構築されてきた。次年度は多忙化する業務との兼ね合いを図りながら、研修の精選と実践を行いたい。</li> <li>保護者等をはじめとする地域の期待に応えられるよう、生徒の実態把握、授業研究を行い、生徒の学力向上に尽力していく。</li> <li>特に交差点での左右確認・一時停止・徐行の徹底と、時間に余裕を持って登校することを引き続き呼び掛けていきたい。また、年に一度実施している、警察職員による非行防止教室の中に交通安全に関する内容もお願いしたい。</li> <li>感染症予防対策を周知し、可能な範囲で生徒の主体的なボランティア活動の参加が実現できるよう、広報等の充実を図りたい。</li> <li>大学が年内入試(総合型・推薦型)の割合を増やしている現状と、依然として一般選抜で受験したい生徒が多い本校の現状がある。生徒に限られた時間の中で探究学習と学力向上の両立を果たすのは難しい。まずは各ホームルーム担任による生徒や保護者等との面談を通して、早い段階から総合型・推薦型選抜か一般選抜かの希望を把握し、本人の能力と適性を判断していかなければならない。</li> <li>学力向上へのモチベーションは、日々の学習活動での成功体験にかかっている。そのために授業で積極的にテストを活用していくよう、教科担任に呼び掛けていきたい。</li> <li>地域と連携して、生徒のキャリア形成を充実させる。また、担任と連携して、ホームルーム活動や総合学習等で活用できる内容を研究してキャリアノートを改善していく。</li> <li>毎年、県へ予算請求の要望は出しているが、良い結果は出ていない。とにかく県へ要望を出し続ける。</li> </ul>